

令和2年度認知症総合支援事業

項目	内容
令和2年度	<p>事業目標</p> <p>①支援困難となりがちな家族や地域と疎遠な独居高齢者の実態把握強化</p> <p>②認知症の正しい知識の普及啓発と認知症ケアパスの運用、医療・介護の連携による切れ目のない支援体制の強化</p> <p>③認知症サポーターを中心にした本人・家族のニーズと支援をつなぐ仕組みの整備（チームオレンジの基盤づくり）</p>
	<p>目指す成果</p> <p>① 支援の必要な認知症の人の早期発見・早期介入（MCI レベルで気づいて介入）できる。</p> <p>② 認知症ケアパスの活用により、認知症の人やその家族が必要時に適切な支援を受けることができる。</p> <p>③ 認知症高齢者への見守りの目や支援者が増えて、認知症の人やその家族が安心して生活できる。</p>
	<p>取り組み</p> <p>① 家族や地域と疎遠な独居高齢者の実態把握を強化し、認知症高齢者を早期に支援する。</p> <p>② 認知症サポーター養成講座や介護予防出前講座に認知症ケアパスを活用し、認知症早期症状の理解や気づきを促す。</p> <p>③ チームオレンジコーディネーターを配置し、ステップアップ講座の企画、受講勧奨を進めるとともにチームオレンジとして活動するための基盤づくりの検討をすすめる。</p>
	<p>年間予定</p> <p>① 認知症施策検討委員会（年3回）：9月、11月、2月</p> <p>② 認知症カフェ連絡会：10月、2月</p> <p>③ メール配信システムを活用した、認知症声かけ訓練の実施</p> <p>④ 高梁・新見地域認知症疾患医療連携協議会 高梁部会</p> <p>⑤ キャラバンメイト連絡会、認知症サポーターステップアップ講座の開催準備</p>